

スマホを紛失した！万が一に備えてスマホを設定

スマホを使おうしたら、見当たらない……。さて、どこに置いたのか？もし紛失していたら一大事だ。連絡手段が断たれるばかりか、大事なデータなどを失う恐れもある。こうしたトラブルに備え、いつでもスマホの現在地をパソコンで調べられるように設定しておこう(図1)。

スマホの紛失に備える機能は、AndroidとiPhoneどちらにもある。まずは、利用している端末でGPS

S機能(位置情報サービス)を有効にしておこう(図2、図3)。続いてAndroidは、グーグル設定の「セキュリティ」にある「端末を探す」機能を有効にする(図4)。スマホでの設定はここまで。スマホが見当たらないときは、パソコンのブラウザでスマホと同じグーグルアカウントでログインして「端末を探す」ページを開く。すると、地図上にスマホの

現在地が表示される(図5)。もし屋外にあるようなら、「端末を保護」機能でロックをかけて拾得者にメッセージを送ろう(図6)。iPhoneでは、iCloudの「iPhoneを探す」機能を使う。できることは、Androidとほぼ同様。こちらもパソコン上でiPhoneの現在地を確認でき、ロックやメッセージの送付ができる(図7～図9)。

落ち着いてパソコンから操作しよう

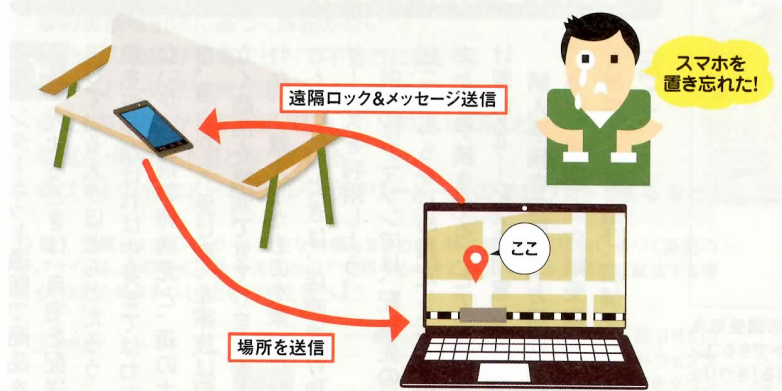


図1 スマホを紛失したら落ち着いて現在地を調べよう。スマホの端末を探す機能を使えば、スマホはGPSとデータ通信機能を使って現在地を地図上に示してくれるので、どこで紛失したのかわかる。遠隔操作でロックしたり、メッセージを表示させたりすることも可能だ

まずはスマホのGPSを有効にする

●Androidの場合

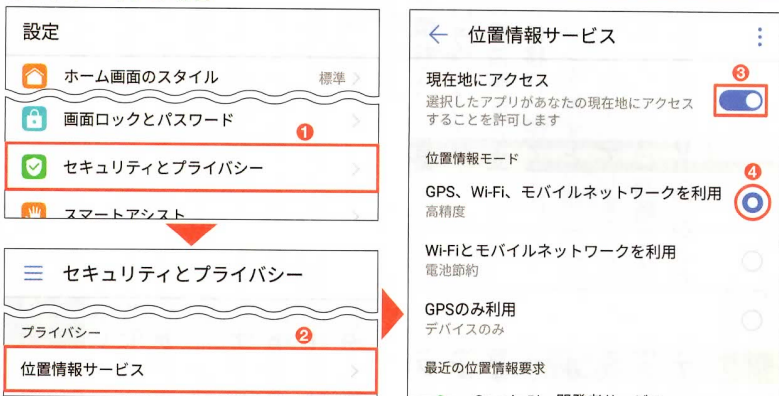


図2 スマホのGPS機能が有効になっていることを確認しよう。Androidの場合は、「設定」から「セキュリティとプライバシー」を開き(1)、「位置情報サービス」をタップ(2)。「現在地にアクセス」を有効にし(3)、「位置情報モード」で「GPS、Wi-Fi…」を選ぶ(4)

●iPhoneの場合



図3 iPhoneは「設定」から「プライバシー」を開き(1)、「位置情報サービス」をタップ(2)。開いた画面で「位置情報サービス」を有効にする(3)